

第 1 回 氷見市総合計画審議会 会議録		
日 時	令和 8 年 3 月 3 0 日（月） 1 4 時 0 0 分から 1 6 時 0 0 分まで	
場 所	氷見市芸術文化館マルチスペース	
出席者	委 員	磯島 由佳子、浮橋 勉、大嶋 充、大舘 育仁、奥村 真一、尾畑 納子、鎌仲 徹也、木村 浩司、小島 稔、清水 幸雄、清水 五月、高木 義則、武内 政弘、辻 卓也、辻井 満雄、西川 扇博、林 千昭、牧本 優美、松原 勝久、森口 毅彦、柳田 ゆかり、藪田 栄治、吉崎 一美、吉田 聡子（出席 2 4 名）（欠席 6 名：池森 典子、林 美樹、藤田 実、松井 みづほ、村山 由佳、山崎 弘善）
	市関係職員等	菊地市長、篠田副市長、有島教育長、東軒政策統括監、出戸企画政策部長、天坂総務部長、森市民部長、竹口産業振興部長、小倉建設部長、赤倉防災・危機管理監、萩原教育次長、岩根会計管理者、安田消防管理監 事務局（蔵田未来戦略課長、石出未来戦略課長補佐、外 4 名）
次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 審議会委員委嘱 4 審議会委員の紹介 5 議事 （1）会長及び副会長の選出 （2）諮問 （3）第 9 次氷見市総合計画後期基本計画の策定について （4）意見交換について 6 その他 7 閉 会	
資 料	【説明資料】 資料 1 第 9 次氷見市総合計画後期基本計画の策定方針及び策定体制等について 資料 2 第 3 期「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「氷見市人口ビジョン」 資料 3 第 3 期「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）」 資料 4 第 3 期「氷見市人口ビジョン（概要版）」 資料 5 第 9 次氷見市総合計画前期基本計画「到達目標（K G I）と「達成目標（K P I）」の検証について 【参考資料】 参考資料 1 氷見市総合計画審議会条例・氷見市総合計画審議会委員名簿 参考資料 2 氷見市総合計画策定委員会設置要綱・氷見市総合計画策定委員会委員	

	名簿
参考資料 3	第 9 次氷見市総合計画前期基本計画「到達目標（K G I）」と「達成目標（K P I）」の進捗状況一覧（令和 6 年度）
冊子	第 9 次氷見市総合計画

1 開会

（事務局）

定刻となったので、ただいまより第 1 回氷見市総合計画審議会を開催する。審議会の会長が選出されまで、事務局で議事進行をさせていただきます。

2 市長あいさつ

（市 長）

委員の皆様には、ご多用のところ、第 1 回氷見市総合計画審議会にご出席をいただき感謝申し上げます。また、日頃からそれぞれの立場で市政の発展にご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。そして、第 9 次氷見市総合計画後期基本計画を策定するに当たり、氷見市総合計画審議会委員の就任をお願いしたところ、快くお引き受けいただき、厚く御礼申しあげます。

さて、第 9 次氷見市総合計画は、基本構想の計画期間を令和 4 年度から令和 13 年度までの 10 年間とし、「人 自然 食 文化で未来を拓く交流都市 ひみ」を目指す都市像に掲げてまちづくりを進めている。ただし、計画策定から 4 年が経過し、想像を上回る人口減少・少子高齢化が進行しており、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による生活様式の変化や令和 6 年能登半島地震の発生など、本市を取り巻く社会環境は大きく変化している。

本市では、本年 1 月に人口減少に対応するため、第 3 期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」）を策定した。目指すべき姿を『食』や『自然・景観』をブラッシュアップして活かし、将来に希望を持って若者や女性が活躍するまち」としている。

このような様々な変化等々を踏まえ、今回策定する後期基本計画は、こうした大きな社会環境等の変化に的確に対応し、活力を創造していく計画としていきたいと考えている。委員の皆様には、氷見の未来が輝かしいものとなるよう、忌憚のないご意見を賜りたい。

3 審議会委員委嘱

委嘱状を机上配布

4 委員の紹介

座席順（５０音順）に紹介

５ 議事

(1) 会長及び副会長の選出

（事務局）

本審議会の委員は３０名で、本日の出席委員は２４名であり、氷見市総合計画審議会条例第５条第２項に規定する会議開催の定足数１６名を満たしていることをご報告する。

氷見市総合計画審議会条例第４条第１項に「審議会に会長及び副会長を各１人置き、委員の互選によって定める。」とあるが、いかがか。

（委 員）

事務局一任。

（事務局）

承認があれば、事務局の案を提案したい。

（委 員）

拍手で承認。

（事務局）

会長には「富山大学経済学部 学部長の森口委員」を、副会長には「氷見市自治振興委員連合会 会長の大嶋委員」にお願いしたい。

（委 員）

拍手で承認。

（事務局）

承認をいただいたので、森口会長、大嶋副会長には、会長席、副会長席に移動をお願いします。それでは、森口会長から挨拶をお願いしたい。

（会 長）

審議会では、氷見市の最上位の計画である第９次氷見市総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」）を策定していくことになる。市長のあいさつにもあったとおり、人口減少や令和６年能登半島地震によって、氷見市を取り巻く社会環境は大きく変化しており、より現実的で実効性のある後期基本計画を策定していくことが

重要なポイントになる。今年1月に策定された総合戦略を踏まえつつ、市民の皆様が明るい未来を描く、希望が持てる、そんな後期基本計画をつくっていきたいと考えている。委員の皆様の協力をいただき、進めて参りたいと思う。よろしくお願いします。

（２）諮問

氷見市総合計画審議会条例第1条の規定に基づき、市長から会長に後期基本計画の策定について諮問する。

（市長から会長に諮問書を手渡した。）

（３）第9次氷見市総合計画後期基本計画の策定について

（事務局）

氷見市総合計画審議会条例第5条第1項の規定に基づき、会長に議事進行をお願いする。

（会 長）

議事を進めさせていただく。議題（３）「第9次氷見市総合計画後期基本計画の策定について」のうち、「第9次氷見市総合計画後期基本計画の策定方針及び策定体制等」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

（「資料1 第9次氷見市総合計画後期基本計画の策定方針及び策定体制等について」及び「冊子 第9次氷見市総合計画」を説明）

（会 長）

質問等があれば承る。（質問等なし）

（会 長）

次に進めさせていただく。次に議題（３）「第9次氷見市総合計画後期基本計画の策定について」のうち、「第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び氷見市人口ビジョン」について、「第9次氷見市総合計画前期基本計画「到達目標（KGI）」と「達成目標（KPI）」の検証」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

（「資料2 第3期『氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略』『氷見市人口ビジョン』」「資料5 第9次氷見市総合計画前期基本計画『到達目標（KGI）」と「達成

目標（K P I）』の検証について」を説明）

（４）意見交換について

（会 長）

質問等があれば承る。

（委 員）

氷見市が県内市町村で市町村平均所得が最下位になっていることについて、高齢者が多いことが原因か。

（事務局）

市町村平均所得は年金所得者を除外していることから、市内事業者や事業所における所得等の現状を踏まえ、構造的な問題が最下位の原因だと考えている。

（委 員）

総合戦略では、スマート農業含めD Xによる生産性向上による取組が記載されているが、まずは営農組合等の組織力の向上が必要であり、組織運営やガバナンス強化に対する研修が必要ではないか。

また、出生数について、氷見市は他自治体に比べ子育て支援が充実しているのに、出生数が増えないのは何が原因なのか。ホームページを含め広報の仕方に改善の余地があるのではないか。

（事務局）

営農組合等の組織力向上については、本市を含め県や農協と協力し、進めていきたい。スマート農業やD X化については担い手確保の課題にも対応しているため、並行して進めいくことが大切だと考えている。

また、今回策定した総合戦略では、出生数の増加につながるよう、若者・女性が活躍するまちづくりを主眼に置いている。また、本市が進めている子育て施策がしっかり伝わるよう発信力についても強化していきたい。

（委 員）

事務局から説明があった後期基本計画の策定方針及び策定体制については、この内容で良いと思う。前期基本計画を策定した際には予想もしていなかった想定外の事態が起こっている。後期基本計画と前期基本計画との一番の違いは市長が言われた震災からの復興である。前期基本計画と後期基本計画を見比べたときに、市長の考えが市民にわかるような計画にしていきたい。後期基本計画策定についての市長の思い

を教えてほしい。

(市長)

後期基本計画については、震災からの復興を含め、本市がどのようなようになっていくのかを市民の皆様に具体的にわかるような計画にしていきたい。また、本市が創造的復興を通じ、震災前より、より良い素晴らしいまちになるような、まちづくりをしっかりと示す計画にできれば良いと考えている。

(委員)

氷見市は観光客を増やす取組を進めているが、氷見駅や灘浦海岸の清掃状況をみると観光客を受け入れるには不十分だと思う。また市の公共施設については使う人の意見が反映されず建築されているように思う。

(事務局)

氷見駅を気持ちよく利用していただくためには、美化・清掃が重要だと感じている。今後は美化・清掃にしっかりと力を入れていきたい。

海岸の漂着ゴミについては、各種団体やボランティアの方が清掃活動をしていただいている。ただし、漂着ゴミは海流や台風等の気象条件によって不定期に漂着するため、効果的な清掃時期を見込めず、常に美化された海岸を保つことは難しい。気象条件等を見ながら、今後も効果的な海岸清掃を実施していきたい。

公共施設を建設する際には、建設前にワークショップ等を開催し、使う方の意見を反映するようにしている。実際に施設を使用する中で、建設以前には想定しえなかった不便な点については、修繕等で改善していきたい。

(委員)

後期基本計画を策定するために分野別インタビューを実施する理由を教えてください。また氷見市の出生数について、令和6年度は令和5年度より増加している理由を教えてください。

(事務局)

今後実施する市民アンケートの結果で分からない分野については、インタビューを実施し直接ご意見を聞くことが必要だと考えている。

出生数については、令和5年度は全国的に新型コロナウイルス感染拡大により出生数が落ち込んでおり、令和6年度はその反動で、令和5年度より増加したと考えている。

(委 員)

人口減少が進む中、復興に向けて、防災、経済、観光、福祉など部署間を超えた地域の生き残りモデルの構築が必要だと思う。そのためには、部署間でバラバラにならないように取り組む必要がある。市役所における部署間の連携について、現状を教えてください。

(事務局)

本市では、窓口での市民対応について、部署間を超え職員が連携し、市民サービスの向上に努めている。また、震災対応を含め、本市が抱える課題に対しては部署間を超えた連携を実施している。

(委 員)

氷見市は交通の利便性が低いと思うが、「唯一無二の体験」「強いブランド力」など、明確な理由があれば、交通の利便性が低くとも多くの観光客が来てくれると思う。氷見市のブランド力向上に向け官民連携で取り組む必要がある。また、若者・女性だけでなく、多くの観光客に選ばれるよう、氷見市を訪れる理由を明確にした魅力ある観光地の推進に取り組んでほしい。

(事務局)

本市のブランド力向上に関しては、令和8年度から「ふるさとブランド推進課」を立ち上げ、観光に関する戦略も含め、推進していく。

(委 員)

市民アンケートの回答率について、令和6年度実績値が令和2年度実績値より低下しているが、低下した理由について「市民アンケートの実施時期が、年度をまたがり転居時期と重なったため、低下した」と分析されている。今回実施する市民アンケートのスケジュールも年度をまたがっており、令和6年度と同様に市民アンケートの回答率が低下するのではないか。

(事務局)

今回の市民アンケートは、本審議会で確定した策定方針を踏まえ、実施したいと考えているため、ご提示したスケジュールとなっている。次回の第2回審議会では市民アンケートの結果についても、お示したいと考えている。

市民アンケートの回答率については、年代が高い世代の回答率が高くなる傾向にあるが、市民アンケートでは幅広い世代から回答をいただく必要があるため、令和6年

度市民アンケートでは世代間の回答数が同一となるよう発送数を調整した。その影響もあり回答率は減少したが、世代間の回答数が均等になったことで、正しい調査結果になったと考えている。今回実施する市民アンケートにおいても同様に発送数を調整する予定である。

(会長)

本日は委員の皆様から貴重な意見をいただいた。今後の審議に活かしていきたい。

次回は、後期基本計画の骨子案に関する議論を進めていきたい。

本日の議事はこれで終了した。この後の進行は事務局にお任せする。

6 その他（事務連絡）

(事務局)

次回は4月中旬に開催したいと考えているが、日程が決まり次第連絡する。

7 閉会

(事務局)

それでは、閉会にあたり、市長から皆様に挨拶申し上げます。

(市長)

委員の皆様には、長時間にわたり活発な議論をいただいた。後期基本計画は、震災後の本市のまちづくりを総合的に考える最初の計画になる。市民の皆様にしっかりと理解していただける計画にしていきたい。後期基本計画の最終年度には「地震があつたけれども、良いまちになったね」と市民の皆様に思っていたいただける計画にしていきたい。

委員の皆様には、今後とも本市の未来のために色々な意見をいただきたい。併せて、本市の推進にもご理解、ご支援を賜りますようお願い申しあげ、閉会の挨拶とさせていただきます。

(事務局)

以上で、第1回氷見市総合計画審議会を閉会する。